

Aコース 昔を訪ねて日吉の裏道巡り

約5.3km



1 日吉の丘公園

箕輪町3-13

2 箕輪洞谷横穴墓群跡

箕輪町3-416

平成14年(2002年)に開園。高台にあり、入口付近からは見晴らしが良く、緑豊かな明るい公園です。地元ボランティアが活発な清掃活動、竹林の伐採、桜の木の植樹などを行っています。丘のふもとには、箕輪洞谷横穴墓群跡があります。

3 大聖院

箕輪町3-12-1

天台宗の寺院で山号は景谷山。鎌倉時代に開基され、室町時代永享元年(1929年)に復興。本尊の大聖不動明王は、慈覚大師円仁の作と伝えられる秘仏です。また釈迦堂には十一面観世音菩薩像(木像)が安置され、午年の春に准秋父三十四ヶ所観音霊場の第二十四番札所として開帳されます。

4 諏訪神社

箕輪町3-8-9

昔から箕輪村の鎮守の神として祀られていました。ももとの祭神は武御名方命ですが、大正3年(1914年)に付近の神明社、稻荷社、蔵島神社、御蔵社、天神社、道祖神が合祀されました。

5 熊野神社

日吉5-18-1

創建年代は不明ですが、後北条時代の矢上城主 中田加賀守の勧請と伝えられます。祭神として伊邪那岐命、伊邪那美命、事解男命、速玉男命を祀っています。社殿からは新川崎方面の風景が一望できます。

6 保福寺

日吉4-16-2

曹洞宗の寺院で、山号は谷上山。中田加賀守が開基。地蔵堂に安置されている子育て命地蔵菩薩は、延宝5年(1677年)に造立されたもので、都筑・橋樹・二十五地蔵尊霊場の第十二番に指定されています。

7 慶應義塾大学 日吉キャンパス

日吉4-1-1

昭和9年(1934年)に日吉キャンパスが開校。キャンパス内にある第一校舎(現高等学校校舎)、基督教青年会館は横浜市登録歴史的建造物に指定されています(いずれも内部は非公開)。またキャンパス内には弥生式住居址群、地下には第二次大戦中に作られた旧帝国海軍の地下壕(内部は通常非公開)があります。



Bコース 網島の旧家と縁をたずねる

約5.1km



1 池谷家

網島1-8

江戸時代から南網島村の名主を務めていた旧家(内部は非公開)。明治40年(1907年)に、池谷道太郎は、網島の土壌に最適な桃、日月桃を作り出しました。敷地には日月桃の碑があります。

2 諏訪神社

網島東2-10-1

祭神として建御名方命を祀っています。永禄(1558~1570年)の頃に、武田家の家臣だった網島三郎が、信濃国諏訪明神の上社を勧請したと言われています。明治6年(1873年)に南北網島村の鎮守とされました。

3 長福寺

網島東28-1

浄土真宗の寺院で山号は網島山。網島十八騎の一人だった児島貞典(後に改名し佐々木貞典)が、文禄元年(1592年)に開基。本尊は阿弥陀如来です。

4 網島古墳

網島台1

5世紀後半から末葉につくられた、直径20メートル、高さ3メートルの円墳。地域の首長の墓と考えられています。鉄刀、須恵器、円筒埴輪などが出土しました。横浜市指定史跡です。

5 網島公園

網島台1

約80本の桜があり、毎年3月下旬に桜まつりが開催されます。

6 網島市民の森

網島台1

公園から、スギ、ヒノキ、モウソウ竹の森を通り抜けると、晴れた日にはみなとみらい地区まで見える展望台と、かつての特産品にちなみ桃の里広場があります。桃の里広場では例年3月中旬頃「網島桃まつり」が開催されます。

7 飯田家

網島台17-5

江戸時代より網島村の名主を務めました。飯田家第十代、飯田助太夫廣配は、横浜開港から明治(1868年~)にかけて、養蚕、製茶、天然製氷などを地域に導入し、地域における産業の開花に尽くしました。主屋と長屋門が横浜市指定有形文化財です(内部は非公開)。

8 東照寺

網島西1-13-5

曹洞宗の寺院で山号は網島山。慶安2年(1649年)に生父意鉄大和尚が開山。本尊は薬師如来坐像です。横浜七福神の布袋尊を祀っています。

Cコース 妙蓮寺・菊名の寺社巡り

約4.2km

1 妙蓮寺

菊名2-1-5

日蓮宗の寺院で山号は長光山。観応元年(1350年)に今の神奈川区神明町に日輪上人を招き、大経院妙仙寺として開山。明治41年(1908年)現在地にあった浄寿山蓮光寺を移転先として、妙仙寺の妙と蓮光寺の蓮をとって妙蓮寺となりました。

2 菊名池弁財天

菊名1-8-1

元は妙蓮寺の境外社でした。弁財天は一般的には琵琶を持っていますが、こちらの弁財天は右手に剣、左手に宝玉を持っており、横浜七福神です。

3 菊名池公園

菊名1-8-1

春は桜、冬には野鳥を見ることができます。

4 菊名桜山公園

菊名3-11

4月中旬には、150本以上の八重桜が咲き、山がピンク色に染まります。

5 蓮勝寺

菊名5-4-40

浄土宗の寺院で山号は菊名山。正和4年(1315年)に蓮勝上人が開山。本尊は阿弥陀如来坐像。境内には蓮慶作で横浜七福神の「毘沙門天王」を祀る毘沙門堂があります。

6 菊名神社

菊名6-5-14

昭和の初期まで神明社、杉山神社、浅間神社、八幡神社、阿府神社の5社が村社としてありましたが、昭和10年(1935年)、現在の菊名町公園(当時の杉山神社の地)に合祀され、「菊名神社」と改められました。その後、現在の場所(当時の八幡神社の地)に社殿を移設しました。

7 八杉神社

大豆戸町239

創建年代は不詳。昭和22年(1947年)に、江戸時代から大豆戸村宇安山の鎮守であった八王子社と、大豆戸村宇安山の鎮守であった杉山神社を合祀し、両社の名前を採って「八杉神社」と改称されました。

8 本乗寺

大豆戸町242

日蓮宗の寺院で山号は大宝山。天文23年(1554年)に、小田原北条氏の家臣である、小幡伊賀守泰久により創建されました。開祖は会津妙国寺日什門流。現在の本堂は、天保10年(1839年)に建立されたもので、格子天井に花鳥の絵と風俗図があります。

Dコース 歴史の町 鳥山の今昔を歩く

約5.2km

1 鳥山八幡宮

鳥山町281

創建年代は不詳。佐々木高綱の館がこの神社の西にあったことから、高綱が当地の鎮守として祀ったと考えられています。祭神は応神天皇です。

2 馬頭観音堂(駒形明神)

鳥山町462

佐々木高綱が源頼朝から拝領した名馬生喰は、宇治川の合戦等で活躍し、ここ鳥山で死にました。高綱は亡骸を葬り、駒形明神社を建てて祀りました。祠は朽ち、今は馬頭観音堂として祀られています。

3 三会寺

鳥山町730

高野山真言宗の寺院で山号は瑞雲山。承安年間(1171~1175年)に、源頼朝が佐々木高綱に奉行を命じ、鎌倉幕府の鬼門除けとして建立したと伝わる古刹。本尊は、秘仏の弥勒菩薩像です。旧小机領三十三観音霊場二番札所(子年御開帳)。中興第七代住職・印融法印の墓は、横浜市地域文化財に登録されています。

4 乞食松地蔵尊

鳥山町1270

江戸時代後期の天保大飢饉で、この地域でも多くの餓死者が出、亡くなった人々を弔うために、墓標として松の木を植えました。その後はどくして一人の乞食僧がこの辺りに住み着き、村内で功德を説いていましたが、この僧が亡くなった後、村人は松のところに埋め、地蔵尊を安置して手厚く葬りました。

